

令和元年度 第1回富良野市社会教育委員会議

と き 令和 元年 6月 6日(木)

午後6時00分より

ところ 富良野文化会館 第一会議室

(欠席委員)

大橋委員

1. 辞令交付(変更委員のみ)

・近内教育長から、変更委員に辞令を手交。

2. 教育長あいさつ

3. 委員・職員自己紹介(変更委員・異動職員のみ)

4. 社会教育委員の役割について(別紙1)

・別紙1に基づき、役割などについて説明。

5. 報告事項

(1) 第37回少年の主張大会について(5/22開催)

※審査員として社会教育委員より天日委員長を推薦(別紙2「大会結果」添付)

(2) 上川管内社会教育連絡協議会第1回理事会及び総会について(5/21開催)

※天日委員長出席(別紙3「会議顛末書」添付)

(3) 令和元年度補助金交付団体(社会教育関係団体)について

※別紙4「一覧表」添付

・所属委員より昨年度の事業実績等について報告あり。

・原田委員より子ども会の登録児童数について質問あり、子ども会安全会加入数は772名であることを説明。

6. 協議事項

(1) 令和元年度社会教育推進計画について(別冊)

・資料として配布の計画に基づき、重点事業等について説明。

(2) 年間計画(今後の進め方)について(別紙5)

※評価シートの配布(別紙6)

・別紙5に基づき、諮問事項や今後のスケジュール等について説明。

・今年度においても2部会制を維持していくことを確認したとともに、評価シートを配布し、策定作業も早めに進めていくことを説明。

・また、来年度は次期中期計画の策定年度でもあるため、今年度はその前段として、今後の社会教育の方向性等についての議論を進めていくことを説明。

・福澤委員より、『子ども未来づくりフォーラムについて、子ども達の取り組みの意識を高めるためにも、一般市民やさらには関係する各団体への周知等を図りながら、全市的な取り組みとして、子ども達の発表を受け止める側の機運を高めていく取り組みをしてほしい』との意見あり。

・原田委員及び井口委員より、『社会教育委員数について、本市の経緯や他市の状況等について明示してもらいながら、適正な委員数について、本会議で議論していくことが望ましいのでは』との意見あり。

7. その他

(1) 今年度の主な日程（予定を含む）

○上川管内社教委員・公運審委員合同研修会

7月18日（木）～19日（金） 幌加内町

○上川管内社会教育委員基礎講座（9月又は11月予定） 旭川市

○北海道社会教育研究大会 10月10日（木）～11日（金） 帯広市

○北海道公民館大会 10月24日（木）～25日（金） 札幌市

○青少年表彰式 11月23日（土） 文化会館大会議室

○子ども未来づくりフォーラム 11月27日（水） 文化会館大ホール

○成人式 1月12日（日） 文化会館大ホール

※午後7時15分 閉会

◎社会教育委員の役割について

○社会教育委員とは？

社会教育委員は、「社会教育法」及び「富良野市社会教育委員設置条例」を根拠とし、社会教育の振興を図ることを目的に設置されるものです。

富良野市では定員 27 名以内、委員の任期は 2 年となっております。

※「社会教育」とは、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む。)と定義されています。

○社会教育委員の役割は？

社会教育委員の役割は、富良野市が行う社会教育の振興について、調査、研究、提言などを行うことです。

社会教育委員は、社会教育法において、その職務を次のように定められています。

- 社会教育に関する諸計画を立案すること
- 教育委員会の諮問に応じ、意見を述べること
- 職務を行うために必要な研究調査を行うこと
- 地方公共団体が社会教育関係団体に補助金を交付する際、意見を述べること

○その他

- 委員には、条例の規定により、報酬及び費用弁償が支給されます。
- 社会教育委員会議の事務は、富良野市教育委員会社会教育課が担当いたします。

○報酬(日額) 5,500円 ※半日のみの場合 2,750円

※会議の出席、社会教育事業へ委員として出席した場合に支払われます(所得税が差し引かれます)。

○費用弁償(旅費) 自宅または勤務先(学校等)からの距離に応じて支払われます

※片道5km以上が対象となります。

※市外(沿線を除く)への研修会等への出席に伴う旅費については、職員旅費と同様の扱いとなります。

別紙 2

令和元年度 富良野市子ども未来づくり事業「少年の主張大会」結果

令和元年5月22日(水) 文化会館大会議室

	名前	学校	学年	性別	主張題
最優秀賞					
	笹田 六花	樹海中学校	3	女	日本が世界に誇れること
優秀賞（発表順で記載してあります）					
	内海 有愛	樹海中学校	3	女	「私」と「あなた」
	林 優里	布部中学校	3	女	光り輝くもの
奨励賞（発表順で記載してあります）					
	三田 希美	富良野西中学校	2	女	思いやりの心を持つために
	山田 海咲希	富良野西中学校	3	女	「できない」ことを減らすために
	岡本 和真	布部中学校	2	男	命の大切さ
	頓所 美咲	麓郷中学校	3	女	アレルギーになったから
	塩田 夢叶	富良野東中学校	2	女	スマホとの向き合い方について
	高道 妃菜	樹海中学校	2	女	当たり前は正しいのか
	田代 あかり	山部中学校	2	女	高い壁を乗り越えるには
	菊地 優汰	富良野西中学校	3	男	本当の問題
	瀧上 かがり	富良野東中学校	2	女	悪魔の閃光
	近藤 穂華	山部中学校	3	女	選手の気持ちと自分の気持ち
	清水 悠太	麓郷中学校	3	男	支え
	工藤 桃子	富良野東中学校	3	女	幸せ
	杉本 駿水	富良野西中学校	2	男	私にとっての部活動
	松下 鈴	富良野東中学校	3	女	将来の夢に近づくために

別紙 3

令和元年度上川管内社会教育委員連絡協議会第1回理事会、総会てん末

日 時 令和 元年 5月21日 (火)
出席者 社会教育委員長 天 日 守
社会教育係長 奥 田 俊 二

※ 以下の議案事項について、理事会及び総会にて審議され、全て承認された。

1 報告第1～2号

平成30年度事業経過報告、収支決算報告、会計監査報告

2 議案第1号

令和元年度活動方針

議案第2～3号

令和元年度事業計画、収支予算

- ・理事会において天日理事から、旅費の予算額が増加している理由について質問があり、事務局より、理事選出町が和寒町から中川町に変更になったことによるものであるとの説明あり。
- ・総会において鷹栖町斉藤氏から、委員長等研修会と合同研修会の日程が近すぎて参加しにくいのではないかと質問があり、事務局より、合同研修会は開催地である幌加内町の都合もあるためこの日程で開催させていただきたいとの説明あり。また、大島会長より、開催地の都合を優先させたいと考えているため今年度はこの日程で開催したい、来年度以降は配慮して日程を考えたい旨の話があり、今年度は事業計画どおりの日程で開催していくこととなった。

3 その他

○2019年度道社連協永年勤続功労社会教育委員表彰

- ・理事会にて全員（8名）を候補者として決定、今後、道社連協へ推薦していくこととした。

○令和元年度上川管内社会教育委員連絡協議会表彰

- ・理事会にて全員（16名）を被表彰者として決定した。

○上川管内社会教育委員・公民館運営審議会委員等合同研修会について

- ・加藤課長より、幌加内町の地理的な特徴から1日目は街中で行い、交流会と2日目は朱鞠内で行う予定であること、現地視察先の幌加内高校は授業にそばを取り入れており特色ある取組であること、2日目の分科会は上川教育局の小島主査に進行役を務めていただく予定であることなどの説明がなされた。
- ・大島会長より、できるだけ自分のやりたいことをやっていただきたいとの考えで、昨年度から分科会の方式を変更しており、申込みの時点で分科会の参加希望テーマを確認し、グループ分けを行う予定である旨の補足説明がなされた。

○研究紀要論文掲載順

- ・今年度の研究紀要論文掲載担当は、中川町、美瑛町、東神楽町、占冠村。

○上川管内社会教育委員連絡協議会会計規程の改正について

- ・会計規程の第3条第4項及び第5項を追加し、年度当初の支出について、簡易かつ経常的な経費の支出は、総会における予算の議決前でも事務局長の専決により支出できるよう改正がなされた。

4 閉会

以 上

別紙 4

令和元年度 補助金交付団体(社会教育関係団体) 一覧表

交付団体名	補助対象経費	補助額
①日本ボーイスカウト富良野育成会	474,000円	54,000円
②富良野中央婦人会	302,000円	135,000円
③富良野市子ども会育成連絡協議会	1,845,500円	800,000円
④富良野市父母と先生の会連合会 (富良野市PTA連合会)	434,100円	90,000円

令和元年度 社会教育委員会議等年間計画 (今後の進め方)

1. 青少年表彰者の選考について
 - ・社会教育委員より選考委員を選出し選考する（選考期間を設け、調査、答申案を作成）
2. 令和2年度社会教育推進計画について
 - ・各課、各施設の事業内容や課題等について、社会教育委員・職員の共通認識を図っていくことを目的に、各領域の事業内容や課題について確認・協議する機会を設ける。
 - ・各事業担当職員と社会教育委員により、今年度の事業評価を行い、次年度の計画策定の参考にする。
3. 研修について
 - ・上川管内社会教育委員連絡協議会・北海道社会教育委員連絡協議会・北海道公民館協会主催の各研修会
 - ・自主研修

■社会教育委員会議日程（案）

月 日	会 議	内 容
6 月 6 日	第1回社会教育委員会議	社会教育推進計画 年間計画等
7 月 1 8 日 1 9 日	上川管内社教委・公運審委員 合同研修会（幌加内町）	講演・分科会 他市町村社会教育委員との情報交換
9 月 下旬	第2回社会教育委員会議	諮問事項 富良野市青少年表彰規則に基づく令和元年度 表彰者の選考について
必要に応じて	※青少年表彰選考委員会	
9 月又は 1 1 月	上川管内社会教育委員基礎講座 （旭川市）	内容については検討中
1 0 月 1 0 日 1 1 日	第59回北海道社会教育研究大会 （帯広市）	講演・分科会 他市町村社会教育委員との情報交換
1 0 月 中旬	第3回社会教育委員会議	諮問事項 富良野市青少年表彰規則に基づく令和元年度 表彰者の選考について 諮問事項 令和2年度社会教育推進計画の策定について
1 0 月 2 4 日 2 5 日	第63回北海道公民館大会 （札幌市）	講演・分科会 他市町村社会教育委員との情報交換
必要に応じて	・令和2年度推進計画 策定作業（素案作成）	
必要に応じて	・今後の社会教育等の 方向性について議論	
2 月 上旬	答申（委員長・副委員長）	令和2年度社会教育推進計画の策定について

※その他、諮問等の必要に応じて社会教育委員から意見をいただくことがあります。

別紙 6

社会教育推進計画 点検・評価シート

記入者氏名

※富良野市教育計画(社会教育編)の中から事業を選択し、以下に記入してください。

領 域	P7～家庭教育・P9～少年・P15～青年・P16～成人・P17～高齢者 P18～文化財保護・P20～社会教育推進の基盤整備 P23～公民館・P26～生涯学習センター・P27～博物館・P31～図書館		
事業名			
評 価	達成度・効果度で4段階評価をお願いします(下のA～Dのいずれかに○をつけてください)。		
	達 成 度	A ・ B ・ C ・ D	効 果 度
	A ・ B ・ C ・ D		
	達成度～事業の進捗状況として、当該年度において事業がどの程度まで実施できたのかを評価します。 A：実践が進み効果を上げている B：実践が進み、達成度は比較的高いと判断される C：実践に努めているが、達成度は低いと判断される D：ほとんど（全く）実践されず、努力を要する		
	効果度～事業の実践により、当該年度に得られた効果がどの程度なのかを評価します。 A：期待どおりの効果が得られたと判断される B：やや期待どおりの効果が得られ、効果度が比較的高いと判断される C：期待どおりの効果までは得られず、効果度が低いと判断される D：期待した効果がほとんど（全く）得られなかったと判断される		
	※達成度・効果度の4段階評価についての主な理由を記入してください（思ったことで構いません）。		
課 題	※あなたが考えるこの事業の課題（課題と思える点）を記入してください。		
改善策	※あなたが考えるこの事業の課題に対する改善策（どんなことでも構いません）があれば記入してください。		
今後に向けて	継続性	A ・ B ・ C ・ D	A: 事業拡大も含め積極的に進める (効果が高い、将来的な効果が見込まれる) B: 現状維持しながらすすめる (効果はある・効果が期待できる) C: 事業の縮小を検討(一定の成果または効果が少ない) D: 事業の廃止を検討(一定の成果または効果が少ない)